

個人投資家の皆さまへ

# 豊田通商株式会社 会社説明会

2025年 3月

(証券コード 8015)

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

---

業績推移

---

成長戦略

---

株主還元方針

---

(証券コード 8015)

Be the **Right ONE**

目次

会社概要・ビジョン

---

業績推移

---

成長戦略

---

株主還元方針

---

(証券コード 8015)

# 豊田通商グループについて（2024年3月末時点）

設立  
**1948**年

主要株主  
トヨタ自動車  
**21.69**%

連結従業員数  
約**70,000**名

グローバル  
ネットワーク  
約**130**カ国・地域

連結関係会社数  
（国内外合計）  
約**1,000**社

2024/3期  
当期利益  
**3,314**億円

時価総額 ※  
約**2.6**兆円

経営効率を示す  
ROE **15.1**%

1株当たり配当金  
**93**円  
14期連続増配

# 理念とビジョン

恒久的に変化しない  
世代を通じて継承すべき  
最高概念

基本  
理念

企業理念

人・社会・地球との共存共栄を図り、  
豊かな社会づくりに貢献する  
価値創造企業を目指す

基本理念を  
追求・実現し続ける中で  
到達すべき目標・道標

ビジョン

Global Vision



Be the Right ONE

経営環境の変化を踏まえた  
事業活動指針・方針と  
具体的なアクションプラン・  
数値目標を含む事業戦略

中計経営計画  
年度計画

Humanity

Gembality※

Beyond

豊田通商DNA

基本理念の実現やビジョンの達成に向け、  
全ての豊田通商グループ役職員が共有すべき価値観・行動原則

Humanity

誠実に (Integrity)  
思いやる (Empathy)  
情熱をもって (Passion)

Gembality

現場に寄り添う (Live in Gemba)  
現実に向き合う (Face Reality)  
やりぬく (Accomplish)

Beyond

壁を超える (Beyond Borders)  
共に、切り拓く (Open up  
New World Together)  
未来を創り出す (Create Future)

# 事業本部体制

メタル+  
(Plus)



金属分野における  
大胆なPLUS(プラス)を創造

サーキュラー  
エコノミー



新しい資源循環のあり方を  
デザイン

サプライ  
チェーン



サプライチェーンを  
守り・つなぐ

モビリティ



新たなモビリティ社会に  
幸せを量産

グリーン  
インフラ



持続可能な地球環境を  
支える社会インフラを実現

デジタル  
ソリューション



デジタルの力で  
ソリューションを提供

ライフスタイル



Economy of Life\*ビジネスの  
推進

アフリカ



アフリカの社会課題解決と  
未来の発展に貢献

\*ヘルスケアや食料等、人々の日々の生活に不可欠であり、快適で健やかな未来社会の実現に貢献するビジネス

Be the **Right ONE**

## 目次

会社概要・ビジョン

---

業績推移

---

成長戦略

---

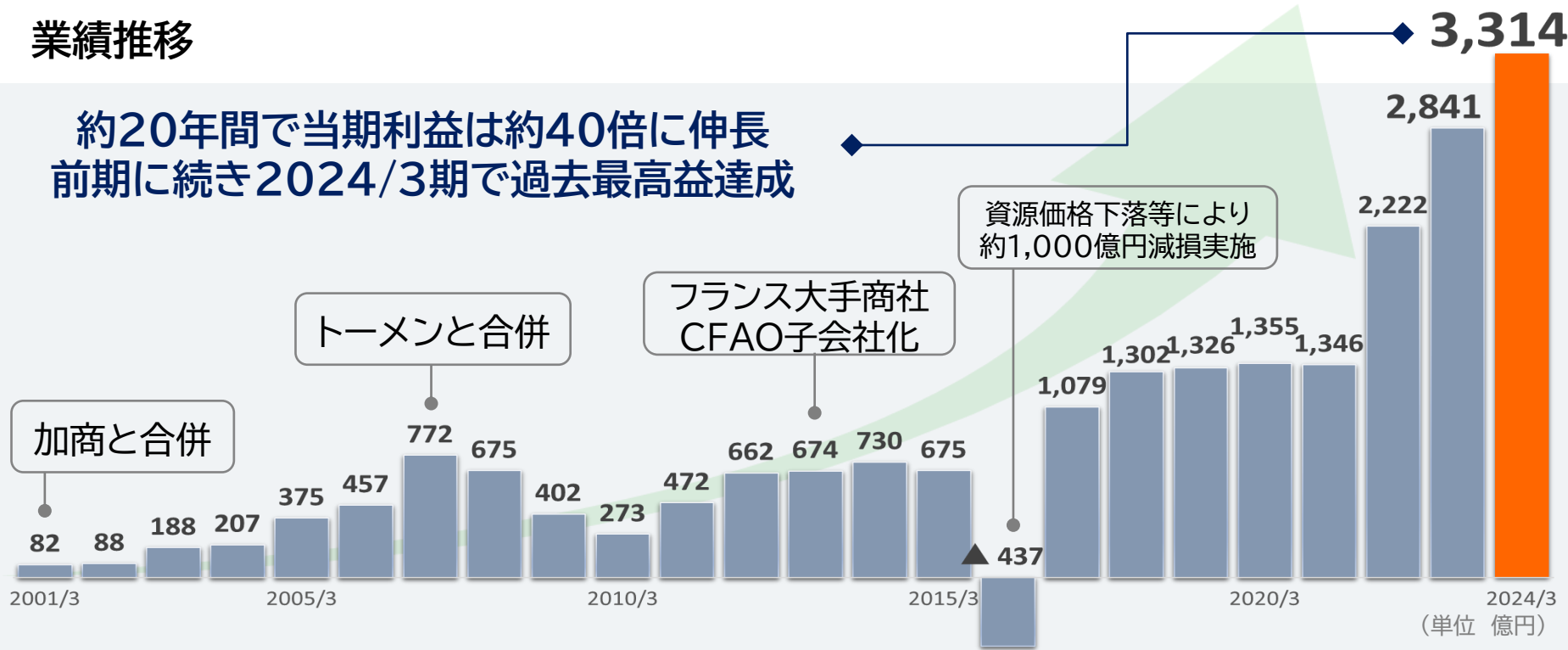
株主還元方針

---

(証券コード 8015)

# 業績推移

約20年間で当期利益は約40倍に伸長  
前期に続き2024/3期で過去最高益達成



2001/3期

2020/3期

2024/3期

約20年で...

当期利益 : 82億円

1,355億円

3,314億円

40倍

時価総額 : 1,179億円

8,957億円

2兆6,500億円※

22倍

※2025年2月末時点

# Be the **Right ONE**

## 目次

会社概要・ビジョン

---

業績推移

---

成長戦略

---

株主還元方針

---

(証券コード 8015)

## 7つの重点分野

\* CN:カーボンニュートラル

### ネクストモビリティ

次世代自動車への進化をリードする新たなテクノロジーの活用やサービスの創出により、安全で快適なモビリティ社会への移行を加速

### 再生可能エネルギー・ エネルギーマネジメント

風力・太陽光・水力等の再生可能エネルギーと、発電された電力のバリューチェーン構築によりCN社会への移行を推進

### アフリカ

モビリティ・インフラ・ヘルスケア・コンシューマー等の領域を通じてアフリカ地域の発展と人々の生活の質の向上へ貢献

### 循環型静脈

廃棄物の回収、再資源化、リユース、適正処理を通じて資源循環の仕組みを構築し、サーキュラーエコノミー社会を実現

### バッテリー

資源から製造に至るバッテリーのトータルサプライチェーンを構築し温室効果ガス削減を見据えた未来の電動化社会へ対応

### 水素・代替燃料

水素およびバイオ燃料等の代替燃料に関する事業を通じて脱化石燃料社会を実現

### Economy of Life

ヘルスケアを中心に当社が強みを持つ国・地域で事業を展開することで人々の生活の質の向上に貢献し、快適で健やかな未来社会を実現

# 成長戦略

## 7つの重点分野

ネクストモビリティ

再生可能エネルギー・  
エネルギーマネジメント

アフリカ

循環型静脈

バッテリー

水素・代替燃料

Economy of Life

成長戦略実現に向けた  
中期経営計画

重点分野への  
投資の促進

2030年CN\*目標達成  
に向けた事業推進

人的資本経営  
の推進

さらなる成長の足元固め  
(安全・コンプライアンス)

Global Vision



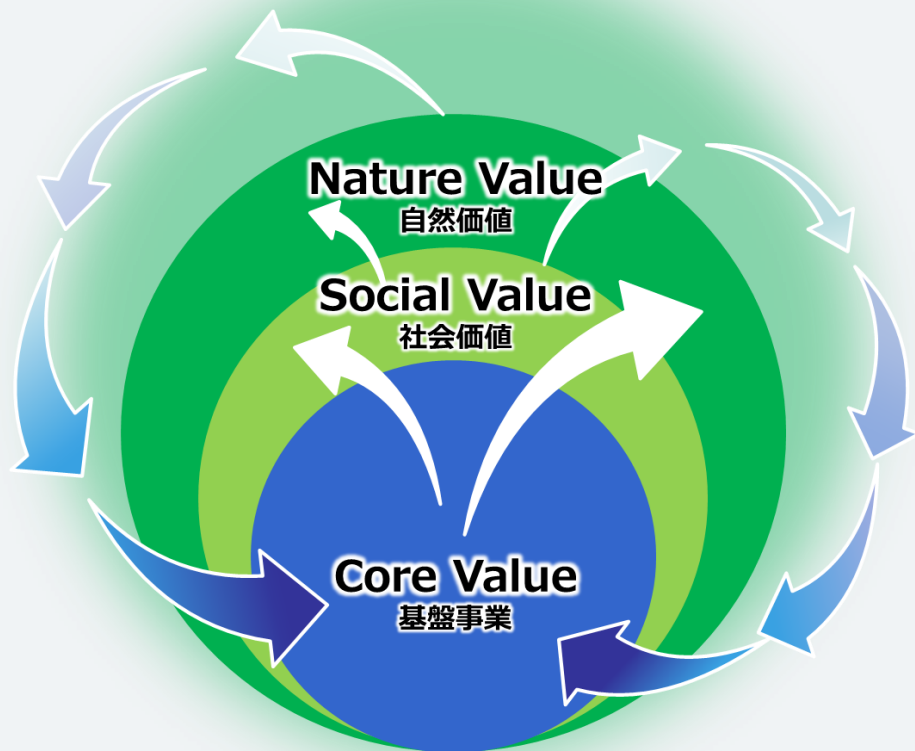
Be the **Right ONE**

長期に目指す姿

社会価値、  
自然価値の提供と  
経済価値を  
両立させ、  
より良い社会と  
地球環境を  
皆さまと共に  
創り上げていく

\* CN:カーボンニュートラル

## 重点分野への投資の促進 ～企業価値向上のサイクル～



### Nature Value(自然価値)

持続可能な地球環境を支える事業を通じて、長期的な価値実現

再エネ・エネマネ

水素・代替燃料

### Social Value(社会価値)

社会課題解決に貢献する事業を通じて、顧客やコミュニティとの関係強化

循環型静脈

バッテリー

EoL

### Core Value (基盤事業)

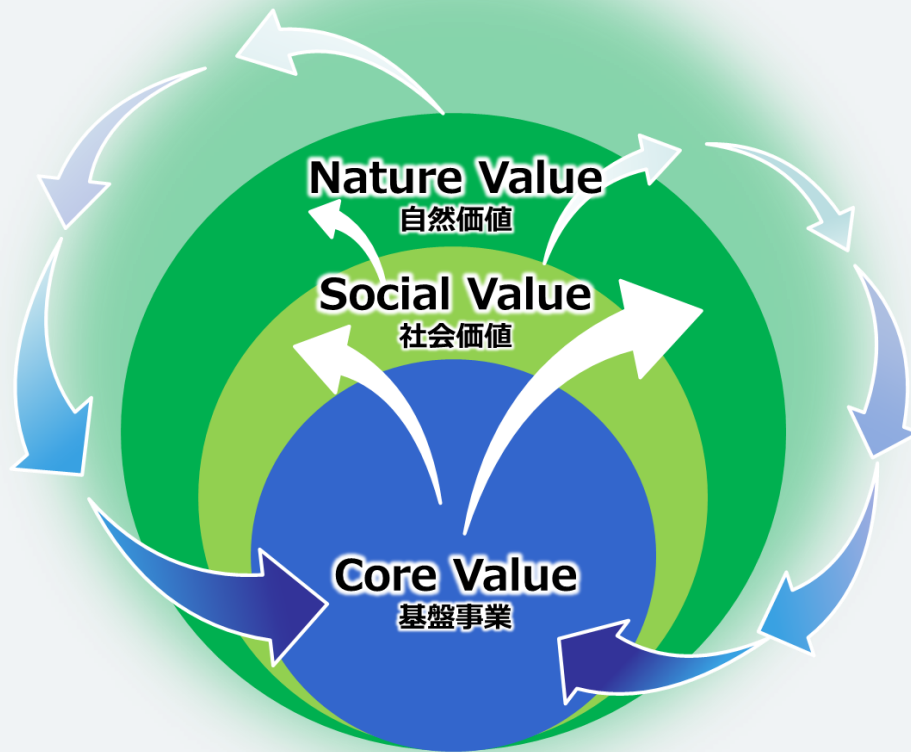
「豊通らしさ」を持つ事業からの力強いキャッシュ創出、長期的な成長のコア

ネクモビ

アフリカ

基盤事業

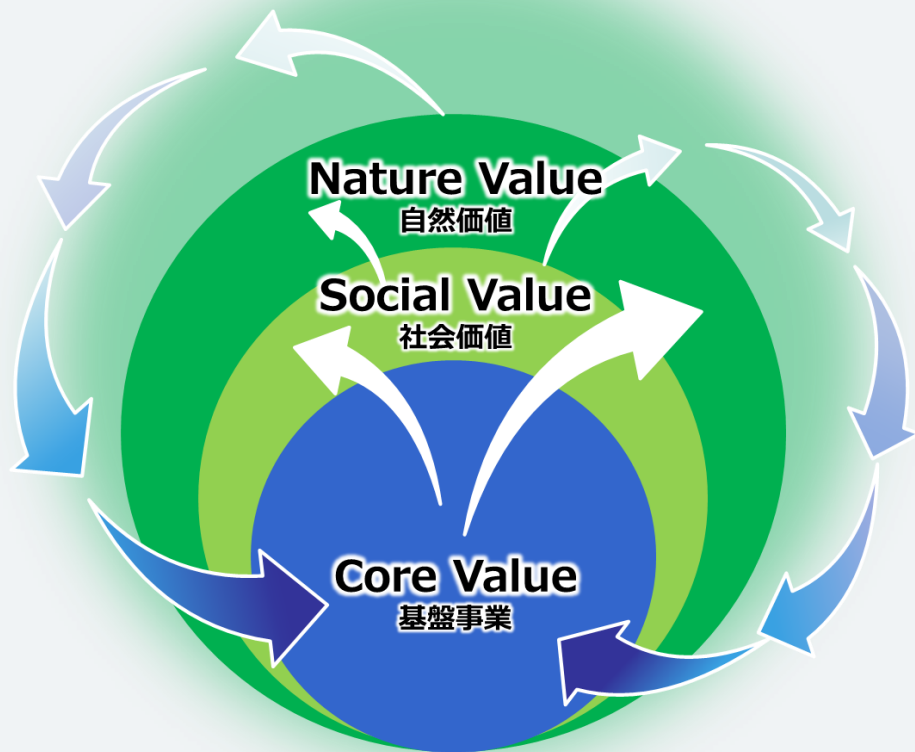
## 重点分野への投資の促進 ～投資リターン～



|              |          | ROIC* |
|--------------|----------|-------|
| Nature Value | 3,000億円～ | 5%～   |
| Social Value | 3,000億円～ | 10%～  |
| Core Value   | 4,000億円～ | 15%～  |

\* Return On Invested Capitalの略称。投下資本利益率と訳される。  
債権者から調達したお金に対して、どれだけ利益を出しているかを示す

# 重点分野への投資の促進



## Nature Value(自然価値)

持続可能な地球環境を支える事業を通じて、  
長期的な価値実現

再エネ・エネマネ

水素・代替燃料

## Social Value(社会価値)

社会課題解決に貢献する  
事業を通じて、  
顧客やコミュニティとの  
関係強化

循環型静脈

バッテリー

EoL

## Core Value (基盤事業)

「豊通らしさ」を持つ  
事業からの力強い  
キャッシュ創出、  
長期的な成長のコア

ネクモビ

アフリカ

基盤事業

# アフリカ

## WITH AFRICA FOR AFRICA



100 years

170 years history in Africa

54

展開国数

174

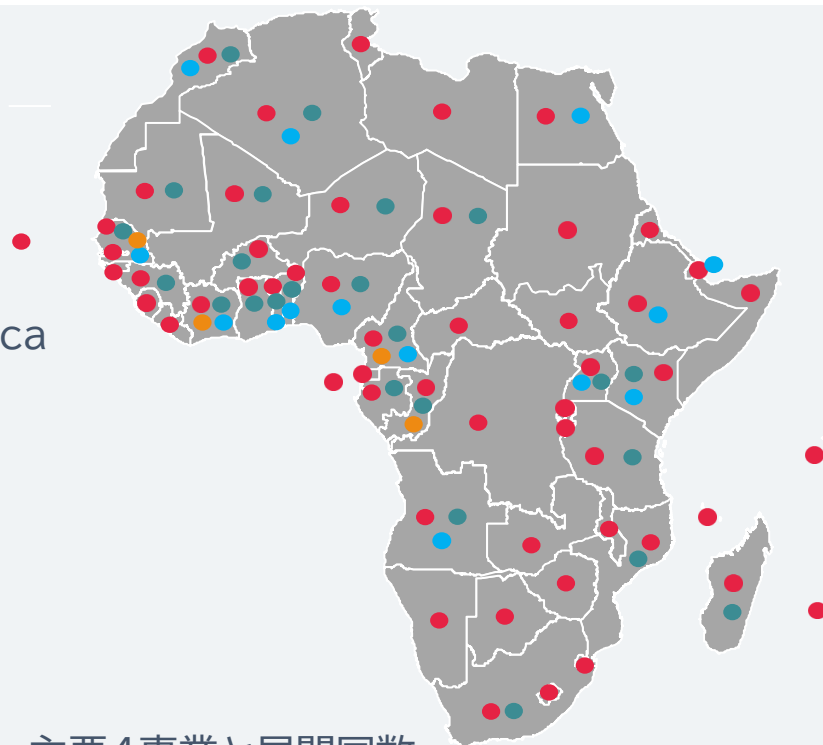
事業体

23,000

従業員数  
(臨時雇用者数を含む)

1.6

兆円の売上 (24年3月期)



主要4事業と展開国数:

|       |    |         |    |
|-------|----|---------|----|
| モビリティ | 54 | インフラ    | 14 |
| ヘルスケア | 24 | コンシューマー | 4  |

# アフリカ

生産事業  
(川上)



輸入・卸売  
・物流  
(川中)

モビリティ

インフラ

ヘルスケア

コンシューマー

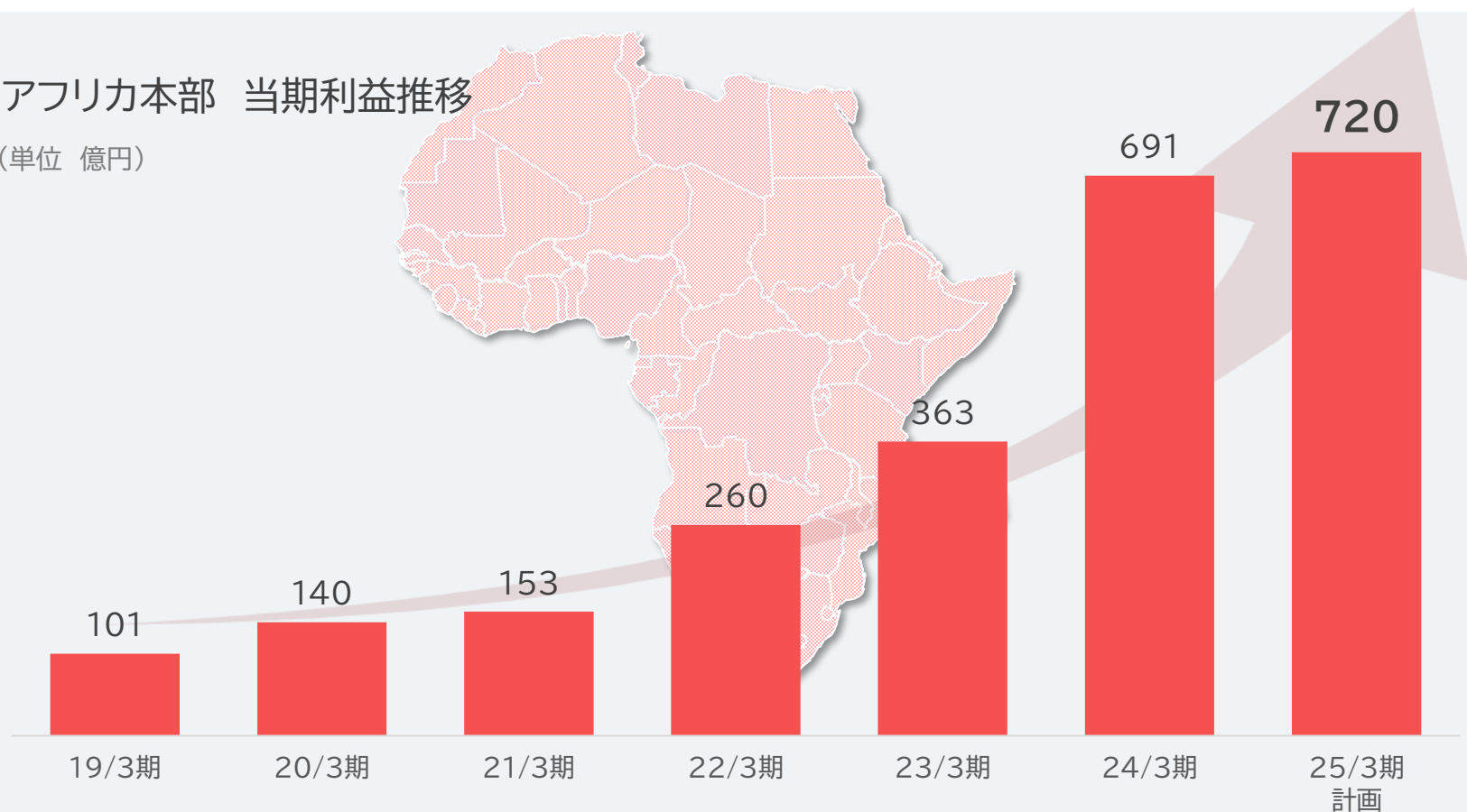
リテール事業  
(川下)



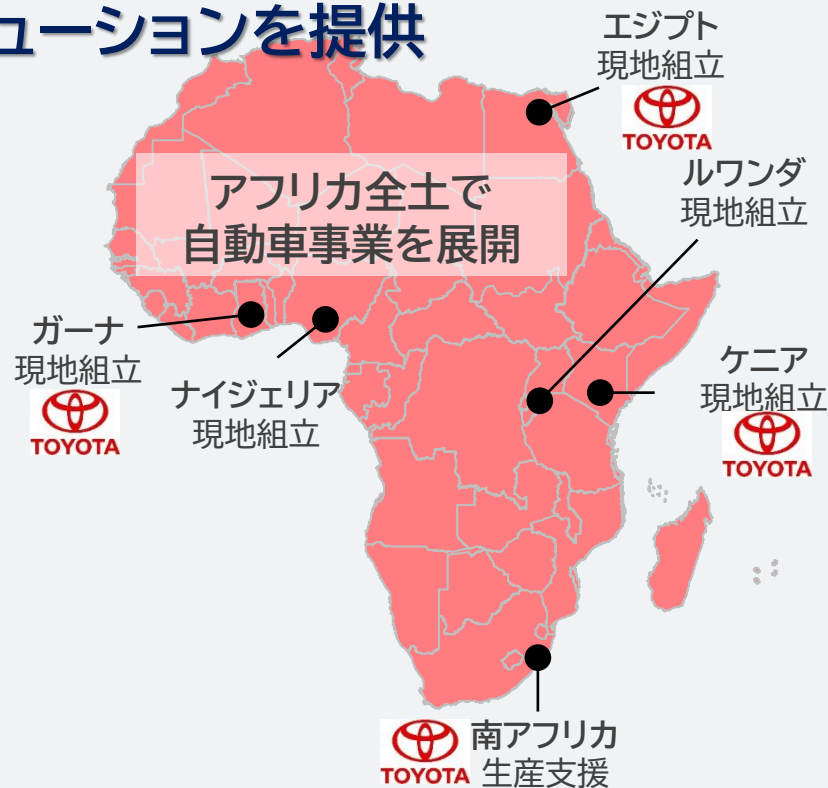
# アフリカ

## アフリカ本部 当期利益推移

(単位 億円)



# アフリカ全土のネットワークを活かし より安全でクリーンなモビリティソリューションを提供

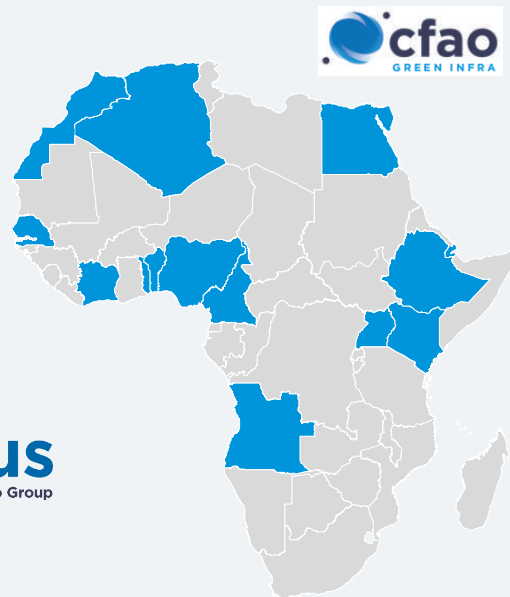


## グリーンで持続可能な社会発展に貢献

企業向け

### 産業および商業顧客向けソリューションサービスの提供

- 再生エネルギー、ソリューション、エレベーター、  
冷却システム、空調



政府・自治体等向け

### 再生可能エネルギーIPP(独立系発電事業者)



### インフラEPC(設計、調達、建設)

IPP



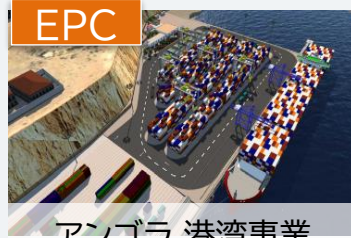
エジプト 風力発電

EPC



ケニア 地熱発電

EPC



アンゴラ 港湾事業

EPC



ケニア 港湾事業

EPC



セネガル 海水淡水化

## 安全推進



## 改善(カイゼン)活動



## 職能教育の機会創出

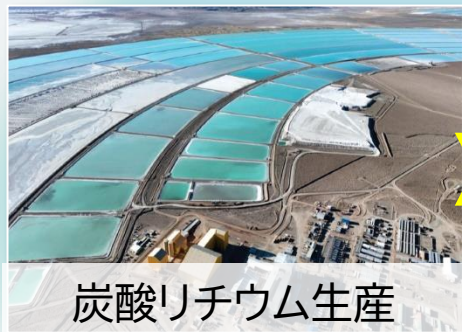
- トヨタケニアアカデミー
- トヨタアンゴラアカデミー
- 自動車整備士の養成トレーニング  
(UNHCR\*連携による難民自立支援)

etc.



\*国連難民高等弁務官事務所(The Office of the United Nations High Commissioner for Refugees)

## 電動車普及のキーとなるバッテリー領域の課題解決を通じ カーボンニュートラルに貢献



炭酸リチウム生産

(アルゼンチン)

第2期工場設備工事完了  
生産キャパシティ  
42,500tへ



水酸化リチウム生産

(福島)

高品質バッテリー素材の  
安定供給体制構築



車載向け電池工場

(米国・North Carolina)

2025年生産開始予定



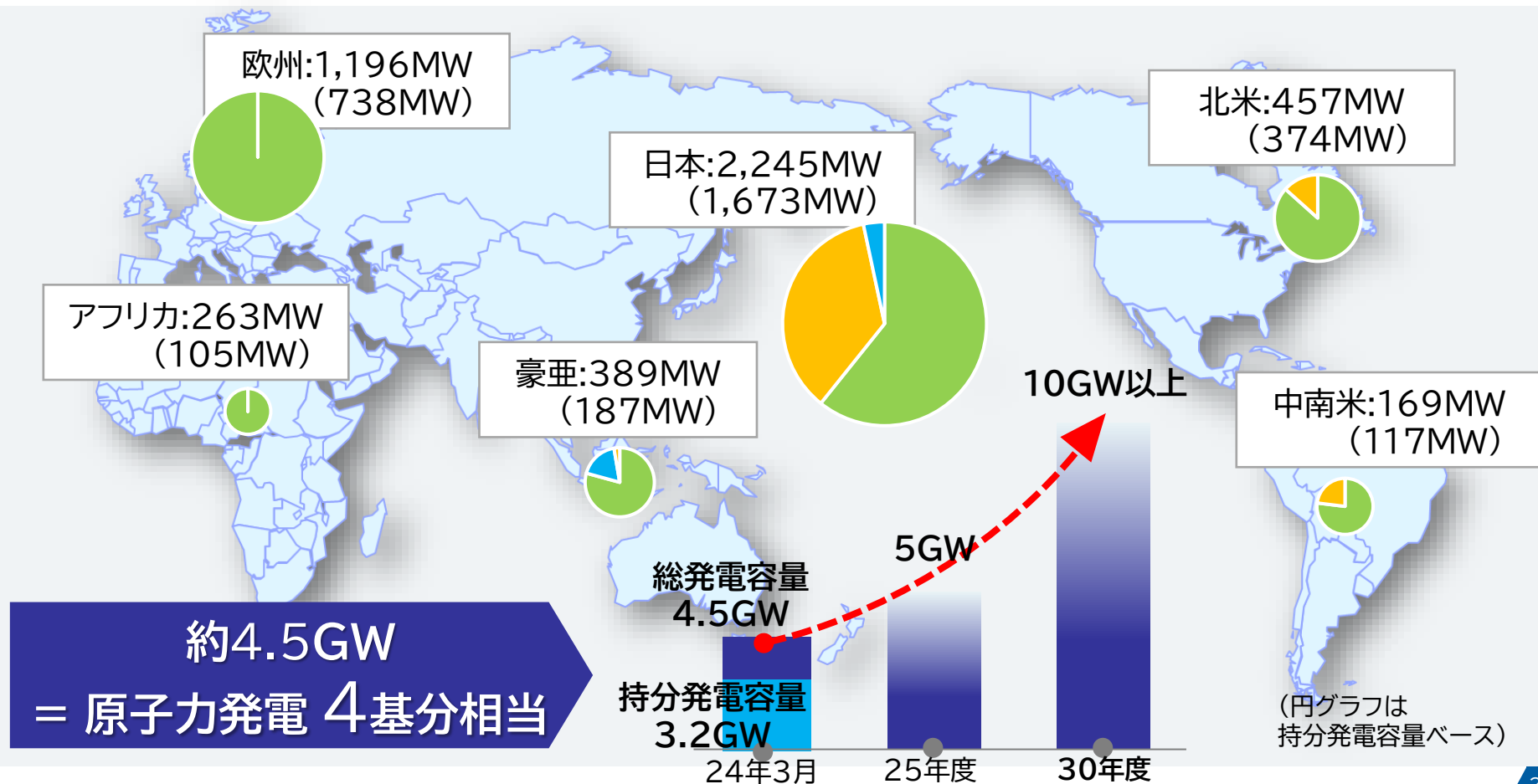
ブラックマス

電池原料  
リサイクル

# 再生可能エネルギー・エネルギーマネジメント

● 風力 ● 太陽光  
● 水力・バイオマス

当社グループ総発電容量  
カッコ内は持分発電容量



# 再生可能エネルギー・エネルギーマネジメント

つくる

集める・整える・届ける

ソリューション活動

風力



電源の  
多様化

太陽光



発電予測

市場取引

蓄電池制御

需要予測

需給バランス課題の  
解決

トヨタアラバマ工場向け  
太陽光発電



お客様の  
カーボンニュートラル化に  
貢献



# Be the **Right ONE**

## 目次

会社概要・ビジョン

---

業績推移

---

成長戦略

---

株主還元方針

---

(証券コード 8015)

# 株主還元方針

- 2024年3月期から2026年3月期において累進配当を実施し、配当性向30%以上を達成
- 加えて、キャッシュフローの動向を踏まえ追加的に機動的な総還元策を検討



# キャッシュアロケーション

## 財務基本方針

ネットDER 1.0倍以内の管理

※  
RA/RB 1.0未満の管理

中期経営計画(25/3期～27/3期) 3年間累計 キャッシュアロケーション



※RA/RB: リスク総量が経営体力の範囲内に収まっているか見る指標  
RA=リスクアセット(不測の事態が起こった際に発生し得る最大予想損失)  
RB=リスクバッファ(当社の財務的な企業体力[資本合計-非支配持分+貸倒引当金(流動)-のれん])

ご清聴ありがとうございました

Be the **Right ONE**



当社ホームページも、ぜひご覧ください  
<https://www.toyota-tsusho.com/>

個人投資家向け情報 <https://www.toyota-tsusho.com/ir/individual/>

統合レポート2024  
発行しております

投資家情報

## 個人投資家の皆様へ

個人株主・投資家の皆様に豊田通商をより深くご理解いただけるよう、当社の戦略、業績、配当方針についてわかりやすくご紹介します。

豊田通商について

当社の成長戦略

グループ業績

配当方針

もっと詳しく  
知りたい方へ



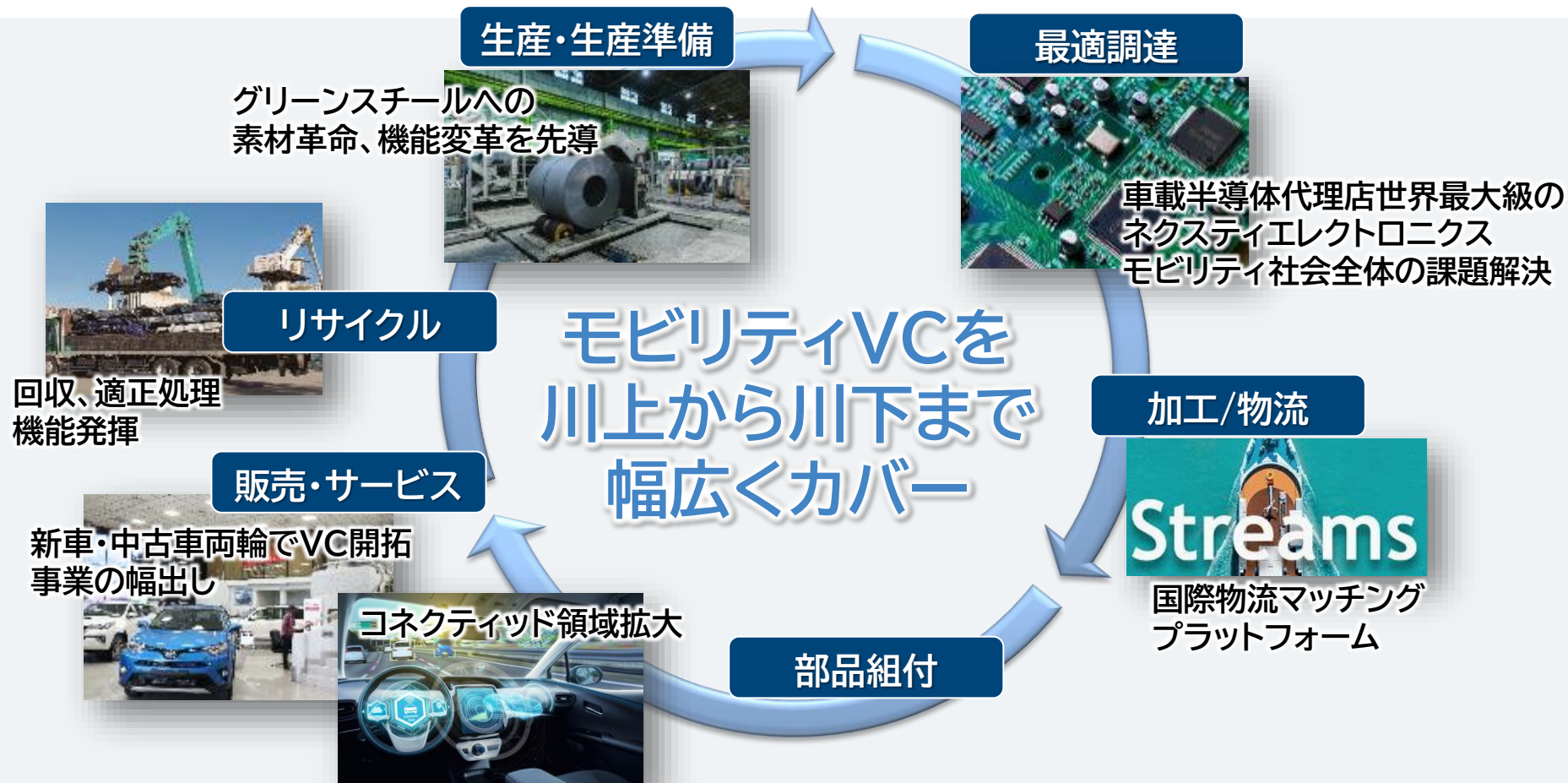
Be the **Right ONE**

よく寄せられるご質問

(証券コード 8015)

Q. 豊田通商の「強み」とは？  
他の商社との違いは何ですか？

# 当社の強み



**Q.** アフリカでのビジネスは地政学リスクが高いと思いますが  
どのように管理しているのでしょうか？

# アフリカ

## WITH AFRICA FOR AFRICA



100 years

170 years history in Africa

54

展開国数

174

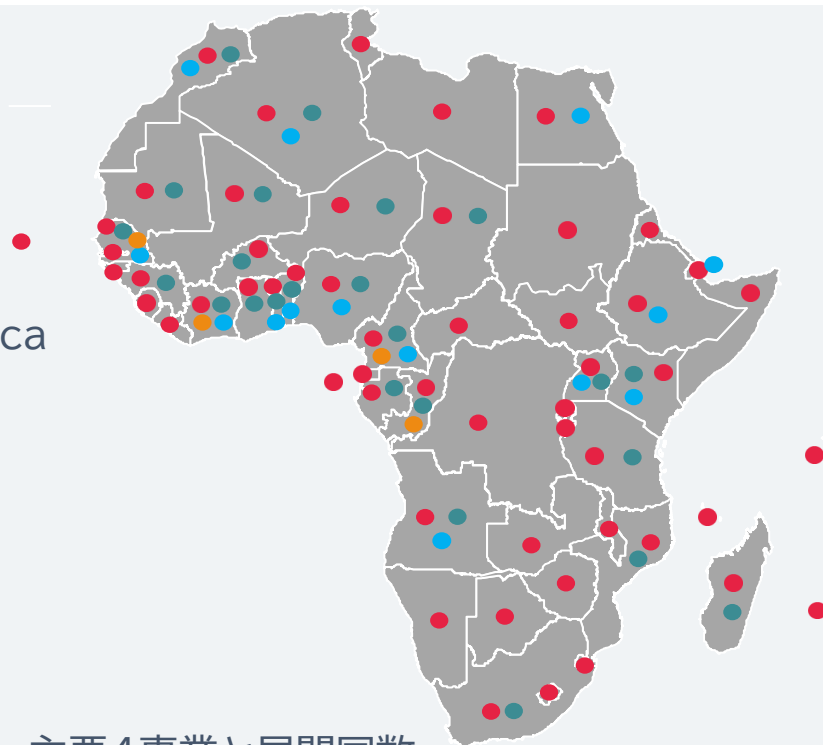
事業体

23,000

従業員数  
(臨時雇用者数を含む)

1.6

兆円の売上 (24年3月期)

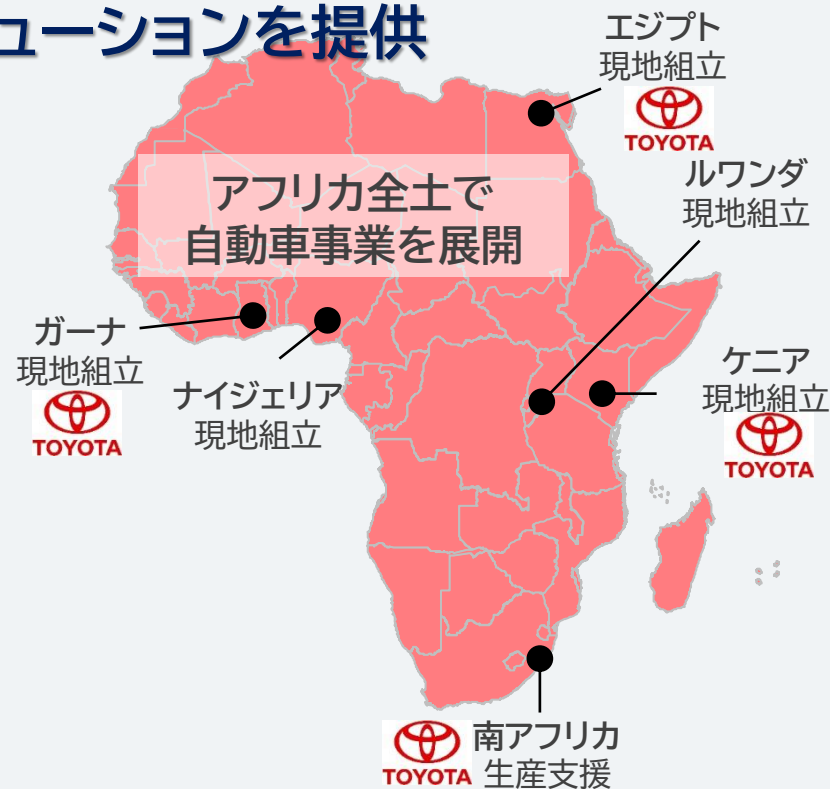


主要4事業と展開国数:

|       |    |         |    |
|-------|----|---------|----|
| モビリティ | 54 | インフラ    | 14 |
| ヘルスケア | 24 | コンシューマー | 4  |

**Q.** アフリカにおけるモビリティビジネスの  
今後について、おしえてください

# アフリカ全土のネットワークを活かし より安全でクリーンなモビリティソリューションを提供



**Q.** アフリカでのヘルスケア事業について  
おしえてください

# 高品質な医薬品へのアクセス向上に貢献



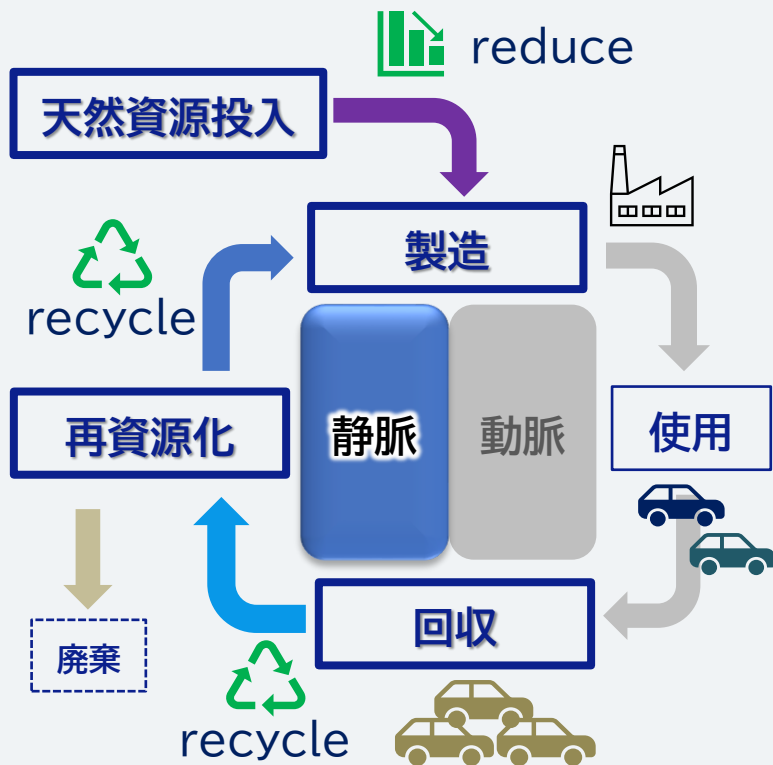
ワクチン保冷輸送車



**Q.** 循環型静脈とは、どのような事業でしょうか

# サーキュラーエコノミー ～資源循環～

資源循環: 使い終えた製品を廃棄するのではなく、再資源化し、製造に再利用する



## 例：金属分野における資源循環ビジネス



ボディを破碎し  
アルミ・鉄など  
スクラップ化

豊田メタル



HVモーター・  
バッテリー、  
廃触媒などの  
分解処理

豊通リサイクル

中古パーツ販売

JARA



アルミスクラップの  
溶湯

豊通スメルティング  
テクノロジー

鋼材や内装材の製造

各種メーカー

触媒の製造

各種メーカー

レアメタルの  
リサイクル

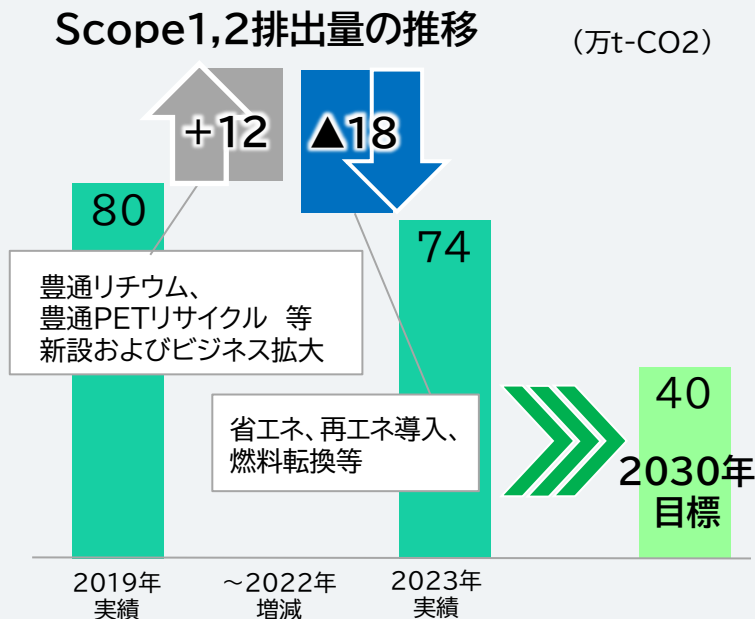
豊田ケミカル  
エンジニアリング



**Q.** カーボンニュートラル、温室効果ガス削減への取り組みについて、おしえてください

# カーボンニュートラル達成に向け事業を推進 Scope1,2

## 【2030年目標に対する削減Road Map】



## Scope1,2削減に向けた取り組み

### ①効率化

- ・既存設備の省エネ (ルールづくり、カイゼン)
- ・省エネ機器の導入



### ②燃料転換

- ・物流機器の電動化(フォークリフト等)
- ・バイオディーゼル燃料導入
- ・製造拠点へのヒートポンプ導入



### ③再生可能エネルギー

- ・太陽光パネル設置
- ・蓄電池、エネマネシステムの導入



自社排出量削減にコミットし、2030年に50%削減目標(\*)を達成

\*基準年2019年

# カーボンニュートラル達成に向け事業を推進 Scope3

当社GHG排出量(2023年実績)

Scope1,2 : 約74 万t-CO2

当社GHG排出量(2023年実績)

Scope3 : 約12,400 万t-CO2

環境負荷の高い資源の取り扱いは少なく、  
モビリティSCでの排出が中心  
Scope3の削減に注力→ビジネスチャンス

| <Scope3 カテゴリー> |              | (万t-CO2) |
|----------------|--------------|----------|
| 1              | 購入した製品・サービス  | 7,759    |
| 4、9            | 輸送、配送(上流、下流) | 815      |
| 11             | 販売した製品の使用    | 3,425    |
| 15             | 投資           | 316      |
| その他            | その他カテゴリー計    | 98       |
| 合計             |              | 12,400   |

## Scope3削減に向けた取り組み

### 生産

モビリティ生産の課程における素材の仕入  
➡リサイクル材等の供給による素材置換  
再エネ電力、省エネ設備の供給

基盤事業

循環型静脈

再エネ・エネマネ

水素・代替燃料

### 販売・サービス

販売したモビリティ(ガソリン車)の使用  
➡電動車の製造、販売への移行

バッテリー

ネクモビ

自社のScope3削減は仕入先/納入先のScope1・2削減に繋がる  
当社Scope3削減に加えて、お客様のCN貢献および収益獲得の機会



Be the **Right ONE**

## 豊田通商株式会社

財務部 IR室

**E-mail**

ttc\_ir@pp.toyota-tsusho.com

(東京本社)

**Tel**

03-4306-8201

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社及びそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 当プレゼンテーション資料の掲載内容(画像、文章等)の全てについて、無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用を行うことを禁止します。